

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, June, 2009

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

6月の状況 (佐藤)

☆ P/2009 L2 (Yang-Gao) (写真 a)

6月16日 21:50、佐藤英貴氏(東京都)から彗星課メーリングリスト(以下 oaa-comet ML)へ「昨年 C/2008 C1 (Chen-Gao)を発見した星明観測所(C42)が新しい彗星を発見したようです。NEOCP に good01 としてアップされています。…」との案内があった。日付が変わった翌 17 日 01:11、筆者から oaa-comet ML に「佐藤英貴さんから案内があった good01 の軌道改良です。伊賀上野の田中さんが昨夜観測しました。画像から私が位置測定をし軌道改良に加えました」と周期が約 6.4 年の短周期の軌道要素を報告。続いて同日 02:17 同じく筆者から、「コマと尾が観測され彗星に間違いありませんが、Dimitry Chestnov は、D/1884 01 (Barnard 1)との類似を指摘しました。Maik Meyer は Arc が短く、現在のところ可能性を否定しています。…」とのコメントと改良した軌道要素を報告した。

同日 22:44、筆者から同 ML に「P/2009 L2 (Yang-Gao)となった Object good01 の軌道改良です。楊睿(Rui Yang:中国浙江省杭州市)は中国科技大学研究生です。高興は C/2008 C1(陳-高:Chen-Gao)を発見したことはご案内のとおりです。…」とのコメントと改良軌道を報告した。

6月18日 22:44、佐藤英貴氏から oaa-comet ML に「梅雨で天候が悪く、なかなか観測の機会がないので GRAS(リモート天文台)を使用しての観測を試みました。D90(豪州 Moorook)にて、RCOS 25cm RC f/6 と、ST-10XME を用いました。主な目的は P/2009 L2 の観測だったのですが、1年ぶりの再会となる C/2007 B2 (Skiff)、南半球では天頂に上る C/2008 Q3 (Garradd) もついでに観測しました。…」のコメントと位置観測報告があった。

佐藤英貴氏はオーストラリア Moorook の D90 やニューメキシコ州 Mayhill の H06 の 25cm リモート望遠鏡を使用し精力的に位置観測を行った。

☆ C/2008 Q3 (Garradd)

6月15日 07:33、宇都宮章吾氏(熊本県)から oaa-comet ML に「…6月11日と、14日のギャラッド彗星の眼視報告です。もっと大きく広がっ

ているようにも見えますが、光害と薄雲ではっきりしません。…」とのコメントと眼視観測報告があった。

24日 23:18、遊佐徹氏（宮城県大崎市）から同 ML に「…昨日は久しぶりに晴れたので、いっぱい観測しようと思ったのですが、C/2008 Q3 を写野にいたところで、雲の襲来となりました。なんとか雲間から観測したものを送ります。30秒露出でも、彗星らしい尾がしっかり写っていました。…」とのコメントと位置観測報告があった。

☆ C/2006 W3 (Christensen) (写真 b)

6月4日 12:55、張替憲氏（千葉県船橋市）から oaa-comet ML に「…九十九里海岸での眼視観測です。悪天候と春霞でほぼ1か月ぶりの観測となりました。集光があり西にわずかな尾の拡がりが見えます。10等の銀河 NGC7331 と同一視野に見えました。…」とのコメントと眼視観測報告があった。

○ 眼視・CCD 光度観測報告

C/2005 L3 (McNaught)

2009	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
June	2.51	15.9	0.8'	-	-	-	-	-	CCD 30-cmL	遊佐徹	exp. 5m

C/2006 Q1 (McNaught)

2009	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
June	2.55	14.1	0.9'	-	-	-	-	-	CCD 30-cmL	遊佐徹	exp. 5m

C/2006 W3 (Christensen)

2009	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
June	1.68	9.5	3.0'	6	-	-	4/5	4/5	49×32-cmL	張替憲
	1.76	9.6	1.2	6/	0.7'	-	3/5	-	79×30-cmL	永島和郎
	26.58	9.4	1.8	6/	1.2	240°	4/5	-	79×30-cmL	永島和郎

P/2008 Q1 (Maticic)

2009	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
June	2.52	16.3	0.3'	-	-	-	-	-	CCD 30-cmL	遊佐徹	exp. 5m

C/2008 Q3 (Garradd)

2009	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
June	11.53	7.0	10'	3	-	-	2/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	14.54	7.5	10	4	-	-	2/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	26.52	9.5	2.5	2/	-	-	3/5	-	61×30-cmL	永島和郎

22P/Kopff

2009	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
June	1.69	9.4	6.0'	2	-	-	3/5	4/5	49×32-cmL	張替憲
	1.75	12.8	0.75	1	-	-	3/5	-	79×30-cmL	永島和郎

65P/Gunn

2009	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
June	2.49	15.3	0.5'	-	-	-	-	-	CCD 30-cmL	遊佐徹	exp. 5m

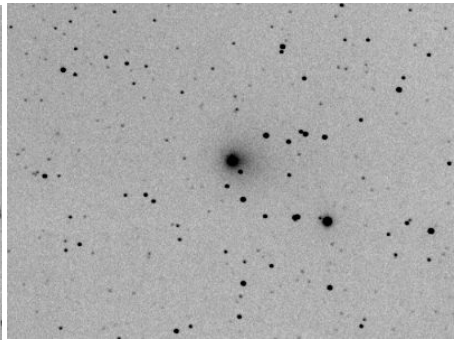
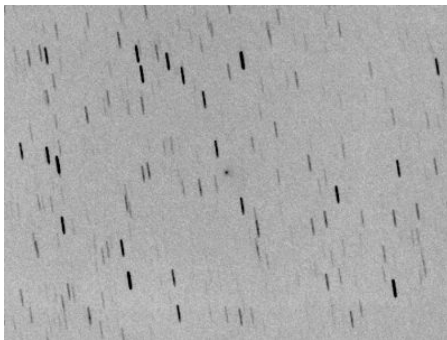
116P/Wild

2009	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
June	2.48	14.0	0.9'	-	0.6'	103°	-	-	CCD 30-cmL	遊佐徹	exp. 5m

○ 6月に検出された彗星

☆ 221P/2009 L1 = 2002 JN₁₆ (LINEAR) 6月1.40日 UT、Leonid Elenin (Lyubertsy, Moscow 地域, ロシア)は、Tzec Maun 天文台 (Mayhill 近郊, ニューメキシコ州)の 0.36-m /3.8 Maksutov-Newtonian 望遠鏡+CCD の遠隔操作で得た CCD 画像から P/2002 JN16 を検出した。検出光度は 19.9 等~20.5 等であった。この検出は、Michael Schwartz によって、Tenagra 天文台 (Rio Rico 近郊, アリゾナ州)の 0.81-m f/7 Ritchey-Chretien 望遠鏡の画像から確認された。MPC 56805 の予報に対する修正値は $\Delta(T) = -0.2$ day であった (IAUC 9051, 2009 June 7)。

その他明るい彗星は、65P/Gunn (写真 b)、88P/Howell などであった。



(写真 a) P/2009 L2 (Yang-Gao) 2009, 06, 16 (写真 b) C/2006 W3 (Christensen) 2009, 06, 16
 22h35.0m-55.5m (JST) exp. 60s×14 TOA130+CCD 2h00.0m-08.5m (JST) exp. 60s×6 TOA130+CCD
 三重県伊賀市上野 田中利彦氏 三重県伊賀市上野 田中利彦氏